

2024年3月31日

一般社団法人みかん箱
代表理事 佐々木 悟

北海道函館市における「子ども第三の居場所」 コミュニティモデルの開設と運営と車両整備（1年目） 完了報告書

【事業期間】

2023年4月1日から2024年3月31日まで（1年間）

【目的】

生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を開設・運営する。行政、NPO、市民、企業の方々と協力し、誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指す。

【目標】

（開設事業）

- 2024年1月31日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設する。
- 運営開始までに関係各所（自治体・学校・SSWなど）へ事業の説明会を実施する。

（運営事業）

- 2024年2月から「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを運営する。
- 2024年3月31日までに1日平均利用児童数を8人にする。
- 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供。
- ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築。
- 子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に1回実施する。

【事業内容】

1. 北海道函館市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設

- 物件現況: 他法人所有ビル（築88年以上）
- 取得形態: 賃料免除の長期使用貸借契約
- 内容: ビル用サッシ、サッシ、防水、塗装、木、金物、断熱気密、建具造作、内装、電気、ガス、設備、器具、足場、外壁塗装、外部看板照明および配線等撤去、壁面サイン、電話およびインターネット各工事、車両整備等
- 施設名称: カルチャーセンター臥牛館
- 面積: 295.56㎡
- 構造: 鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
- 施設概要: 学習・生活支援スペース、交流・遊技スペース、相談室、キッチン、トイレ等

2. 北海道函館市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

- 期間: 2024年2月～2024年3月31日（週5日、放課後から19時まで開所）
- 場所: 北海道函館市

- 3) 対象:64名(家庭や自身に課題を抱えた小学生から高校生など)
- 4) 内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。

【事業実績】

(開設事業)

- 2024年1月31日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設した。
- 運営開始までに関係各所(自治体・学校・町会など)へ出向いて、拠点概要資料をもとに事業の説明を行った。

(運営事業)

- 2024年2月1日から「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営を始めた。
- 2024年3月31日までに1日平均利用児童数を5人にした。
- 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などを安定的に提供した。
- ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係を構築した。
- 子どもが何かを経験したくなるような地域交流イベント「オープンみかん箱」を事業期間内に3回実施した。

【実績説明】

(開設事業)

- ① 子ども第三の居場所コミュニティモデルの開設にあたり、カルチャーセンター臥牛館を改修するため次の工事及び備品購入並びに車両整備一式を行った。
 - 1) 外壁塗装および外構工事
 - 2) 4階相談室改修工事
 - 3) 各階電話設備工事
 - 4) 各階無線インターネット設備工事
 - 5) 1階生活室改修工事
 - 6) 3階学習室等改修工事
 - 7) 3階屋上広場人工芝敷設工事
 - 8) 3階屋上広場フェンス設置工事
 - 9) 屋外看板設置工事
 - 10) 3階屋上広場塗装工事
 - 11) 1階自動火災報知器受信機移設工事
 - 12) 3階屋上広場通路敷設工事
 - 13) 4階相談室硝子取付工事
 - 14) 3階生活室電気工事
 - 15) 3階学習室電気工事
 - 16) 4階相談室洗面化粧台設置工事
 - 17) 1階看板等設置工事
- ② 函館市担当部・担当課、函館市地域包括支援センターあさひ、函館市地域交流まちづくりセンター、函館市内の主に校区に存する小学校、中学校及び高等学校、学童クラブ、町会その他の関係各所に出向き、拠点概要資料をもとに事業の説明を行った。

(運営事業)

- ① 1階生活室を「おひるごはんカフェtaom」として運営を始めた。一般向けのプレオープン営業を複数回行ったほか、会員及びイベント参加者に対する軽食の提供を行った。
- ② 2階学習支援室を「学びの探求塾」として運営を始めた。小中学生の登録者数は16人(

2024年3月31日現在)。就学援助・ひとり親世帯を含む。

- ③ 3階学習室を「ベースキャンプ」とし、地域交流イベント「オープンみかん箱」を次のとおり行った。
 - 3月10日 ゲストスピーカー スティーブ「山登り大好きマンのお話」
曾我風太「カンボジアで見たこと、聞いたこと」
 - 3月16日 ゲストスピーカー ソガ直人「僕らが会社を作ったわけ」
 - 3月26日 ゲストスピーカー 下沢杏奈「人生右往左往、だからいいじゃない！」
- ④ 4階相談室を「スカイルーム」とし、スタッフのミーティングや各種相談を行った。
- ⑤ 大学生及び大人のボランティアスタッフが参加した。
- ⑥ 情報通信技術を活用（テックスープに登録して、Google WorkspaceやSlackを無償で利用するなど）し、運営に関するデジタル化を推進した。
- ⑦ みかん箱のロゴを製作した。
- ⑧ ウェブサイト（www.mikanbako.info）、note、Instagram、Xにて広報を行った。
- ⑨ 学び・出会い・感動を繰り返して、人生を豊かにする「みかん箱メソッド」を策定した。

【成果】

- 1934年の函館大火を生き延び、先人達が受け継いできた歴史あるビルを、現代的な「子ども第三の居場所」拠点に生まれ変わらせることができた。
- 既存の周辺施設との違いを打ち出すために会員制の拠点とし、子どもの会員数を16人にすることができた。
- 2025年3月31日までにさらに会員数を増やし、子どもの1日平均利用者数が15人になっていることを目指す。
- 2025年3月31日までに「おひるごはんカフェtaom」の運営を軌道に乗せ、会員、地域住民及び訪日観光客らとの交流の場になっていることを目指す。
- 2027年3月頃までに「みかん箱メソッド」が会員、保護者及び関係者に定着し、自己肯定感、人や社会と関わる力など、将来の自立に向けた力を身につけた子どもたちが巣立っていくと見込まれる。

【課題と対策案】

- 会員数及び子どもの1日平均利用者数が足りていないので、会員募集の方法を多様化すること。口コミ、SNS、関係機関からの紹介など。
- 非常勤スタッフ、ボランティアスタッフを安定的に確保する必要があるため、スタッフ募集の方法を多様化すること。大学のサークルや教育機関等への働きかけ、ボランティア単位認定の取り付けなど。
- 「みかん箱メソッド」の実践と評価が不十分なので、実践プログラムの企画開発や、評価方法の研究を行うこと。
- 自立に必要な収入を確保するため、寄付、協賛、法人会員を募集すること。

資料

みかん箱のロゴ



子どもがいくところ

みかん箱

おとながいるところ

- 🍊 学びの探求塾「みかん箱」
- 🍊 ベースキャンプ「みかん箱」
- 🍊 地域交流イベント「オープンみかん箱」
- 🍊 おひるごはんカフェ「taom」

🔍 **みかん箱 函館**



一般社団法人みかん箱 Tel 0138-84-5762
〒040-0053
北海道函館市末広町 9-9 カルチャーセンター臥牛館

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

子ども 第三の 居場所



みかん箱ってこんなところ //



4F ミーティング
ルーム

わくわくの
打ち合わせは
ここから始めよう。
どんな出会いや
学びがあるかな。

3F ベースキャンプ、キッチン、
ボールパーク

会員制

対象は中高生。
ものを作ったり
表現したり、
体験活動をするよ。
なにかあったら
おとなに相談してね。

屋上で
軽い運動が
できるよ。

2F 学びの
探求塾

会員制

対象は小中学生。
少ない人数で、
じっくりと考える
力を身につけよう。

事務所

1F おひるごはんカフェ
taom (タオム)

ウズベキスタンの
ことばで「日常のごはん」。
ランチ営業中は
どなたでもどうぞ。
中高生会員はこの
おやつを食べることが
できるんだ。



カルチャーセンター臥牛館にはみかん箱のほか、学童クラブ、ダンススクール、
囲碁・ニット教室、商盛会などたくさんの人たちが通っています。

mikanbako.info



みかん箱の会費、開所日時など
詳しくはウェブサイトをご
覧ください。

3Fベースキャンプみかん箱 オープンみかん箱 お試し体験会

何度でも
参加
無料



第1期生募集中！

3.10(日) 3.16(土) 3.26(火)

14:00-17:00

函館市末広町9-9
カルチャーセンター-臥牛館3Fにて

対象：小学生（現6年生のみ）、中学生、高校生、保護者
児童のみ・生徒のみ・保護者のみでもOK！



申し込みは
こちらから！

みかん箱で体験できることを1日にぎゅっと！

トークショー ゲストスピーカー

10日(日)

スティーブ（学童クラブひのてんスタッフ）
「山登り大好きマンのお話」
曾我風太（ひのてんOB 明石高専3年生）
「カンボジアで見たこと、聞いたこと」

16日(土)

ソガ直人（ヒトココチ代表）
「僕らが会社を作ったわけ」

26日(火)

下沢杏奈
（一般社団法人いとのこ代表理事）
「人生右往左往、だからいいじゃない！」

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

子ども
第三の
居場所



一般社団法人みかん箱

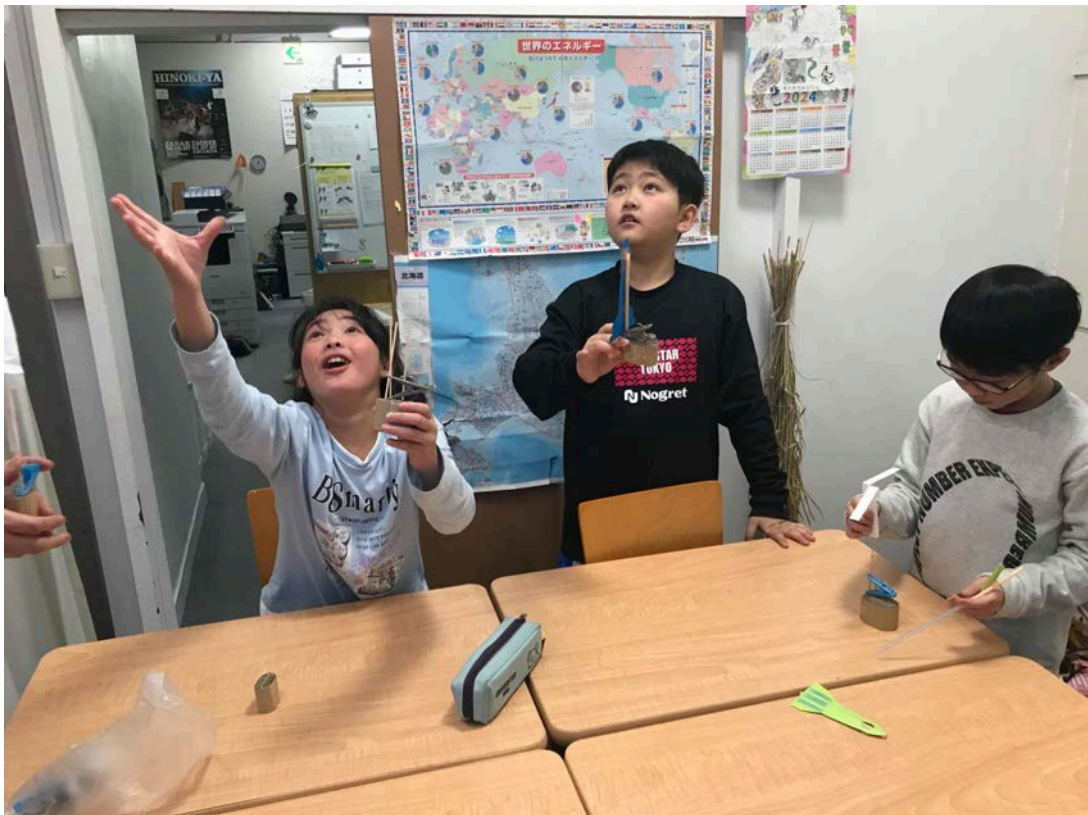
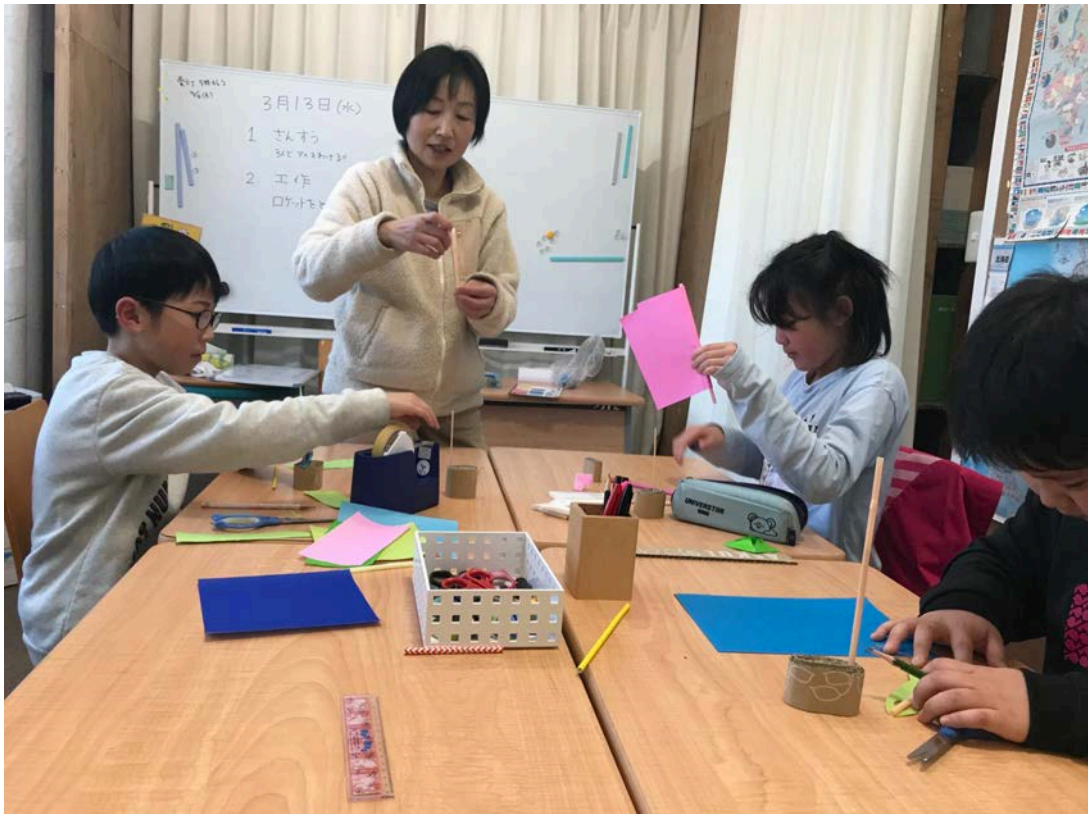
〒040-0053
北海道函館市末広町9-9
カルチャーセンター-臥牛館
Tel 0138-84-5762

みかん箱は2024年2月にオープン。学び・出会い・感動を繰り返して、人生を豊かにする場所です。日本財団「子ども第三の居場所」事業。

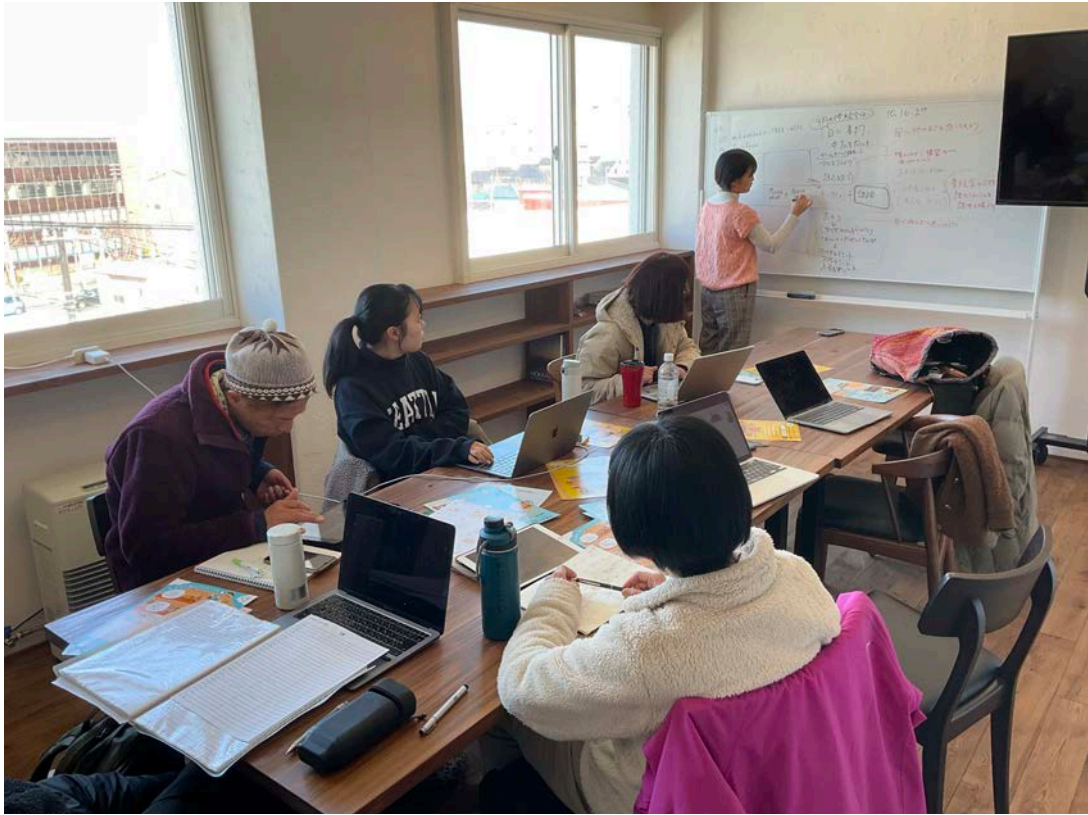
オープンみかん箱写真



学びの探求塾写真



スカイルーム写真



おひるごはんカフェtaom「はらごしらえ」の一例



3Fベースキャンプみかん箱



第1期生募集中!



入会申込はこちらから

中学生のみなさん、高校生のみなさん、毎日を楽しんでいますか
なにげなく、時間つぶしをしていませんか
自分の力を出しきれていない、もどかしさを感じていませんか
みかん箱は言います

世の中におもしろいものは、いっぱい転がってるよと
まだ触れたことがない新しき世界を探求しましょう
仲間との共同作業にトライしましょう

おもしろい生き方を追求している人にたくさん会いましょう
みかん箱では、豊富な出会いと体験を軸に、自分との対話を繰り返しながら、
未来が開けてくる楽しさをみんなで追求していきたいと思えます
みなさんのご参加をスタッフ一同お待ちしております

初回開講日 4月9日（火） **対象** 4月から中高生の生徒 **定員** 先着15名

場所 函館市末広町9-9 カルチャーセンター臥牛館3F

1日の流れ 基本的に 火・水・木 に開講します。祝日は休講日です。
いつ来ても、何時に来てもOK! 開講日については裏面を参照ください。

15:00-17:30 自学自習、レクリエーション、はらごしらえ
17:30-18:30 コアタイム

その日いるみんなで何か面白いことに取り組みます

18:30-19:00 雑談・交流タイム、解散

いつもいる大人

りり、ソガちゃん、いつちゃん、めぐちゃん、まるちゃん、
あんこ、おかこ、大学生スタッフ ほか ※その日いる大人は都度変わります。



一般社団法人みかん箱

〒040-0053 Tel 0138-84-5762
函館市末広町9-9 カルチャーセンター臥牛館



ホームページ



note



Instagram

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

